

令和 2 年度決算に係る
定期監査資料

令和 3 年 6 月

西部教育局

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1頁
	(1) 指摘事項	
	(2) 監査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1
3	職員の定員、現員調べ	1
4	役付職員の調べ	1
5	主な事業に関する調べ	2～4
6	収入証紙取扱調べ	5
7	現金の取扱状況	5
	(1) 現金取扱状況	
	(2) つり銭の状況	
8	財産に関する調べ	5
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の保有状況	
9	財産の貸付け及び使用許可調べ	6
	(1) 土地及び建物	
	(2) 物品	
10	借受不動産明細調べ	6
11	職員駐車場の管理状況調べ	6
	(1) 管理状況	
	(2) 減免の考え方	
	(3) 使用料の見直し	
12	寄附物件の受納状況調べ	6
13	備品の処分状況調べ	7
14	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	7
	(1) 亡失、損傷の報告状況	
	(2) 物品確認の実施状況	
15	小中学校等への支援の状況調べ	8
○	意見、要望等	9

1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1) 指摘事項

指 摘 事 項	措 置 状 況 等
主体的・対話的で深い学びの実現による学力向上事業に係る経費について、支出負担行為の事務手続きが遅延していた。	令和元年12月19日に支払い済み。 再発防止策として、会計担当者が問題を一人で抱え込まないように、上司への連絡・報告・相談を密にする。 さらには、事業実施校、関係市町村教育委員会担当者、事業担当指導主事、会計担当者の連携を密にし、状況確認を徹底するとともに、年間計画と突合して進捗管理を行う。

(2) 監査意見

該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況

該当なし

3 職員の定員、現員調べ

（令和3年4月1日現在）

種 別 区 分	事務職員		技術職員		現業職員		計		備 考
	当該年度	2.4.1現在	当該年度	2.4.1現在	当該年度	2.4.1現在	当該年度	2.4.1現在	
定 員	15	15	1	1	0	0	16	16	
現 員	15	15	1	1	0	0	16	16	
過不足(Δ)	0	0	0	0	0	0	0	0	
臨時的任用職員	0	0	0	0	0	0	0	0	
会計年度任用職員	0	0	0	0	0	0	0	0	

4 役付職員の調べ

（令和3年6月1日現在）

職 名	氏 名	在 職 期 間		備 考
		年	月	
局 長	(兼) 藤谷 雄一	1	2	西部総合事務所参事監
次 長	青砥真由美	1	2	出納員

5 主な事業に関する調べ

(単位： 千円)

事業名	決算額	財 源 内 訳			
		国庫支出金	起 債	その他	一般財源
学校を支える教育環境の充実 (学事担当)	2,052				2,052
将来ビジョン	—				
令和新時代創生戦略	—				
政策項目	—				
(概 要)					
ア 目的及び事業の実施状況					
(ア) 目的					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校教育目標達成のための教職員の効果的な配置、人材確保を図る。 ・ 教職員の資質、能力の見極め及び採用・昇任試験の適正な実施をする。 ・ 学校課題解決のために教職員の加配措置を図る。 ・ 教職員の勤務の適正化を図る。 					
(イ) 事業の実施状況					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 校長の学校経営方針や課題、加配職員の活用状況等（小学校151人、中学校99人）について、学校訪問の際に情報交換を年間2回以上実施した。 ・ 全ての小中学校を計画的に訪問し、全ての教員の授業参観を行った。特に新規採用者、講師等には面談を行い、教員としての取組課題を整理し、助言した。 ・ 学校課題等把握のために市町村教育委員会と双方向での情報提供を行いながら、市町村教育長会においても意見交換を複数回実施した。 ・ 計画訪問の際、授業参観や校長協議等を市町村教育委員会と合同で行うなど、連携の強化を図った。 ・ 教職員の資質向上を考えたとき、服務監督者としての市町村教育委員会の担当者がいかに学校を支援・指導するかが重要であるため、市町村教育委員会担当者とともに教職員の人材育成や人事管理のポイントを共通理解し情報交換を行った。 ・ 教職員の働き方改革を推進するために、常に実態把握や情報提供を行い、市町村教育委員会とも連携を行い、適切な指導・助言を行った。 					
イ 令和2年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 学事担当と学校教育担当が情報共有を密にし、学校課題の内容、取組状況等を把握するなど、事前準備を昨年度よりもさらに入念に行い学校訪問に臨んだ。 ・ 会計年度任用職員制度への変更に伴った対応に取り組んだ。 					
ウ 成果及び効果					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 教育長や校長との協議を密にすることにより、国や県教委の考え方を理解し、学校及び市町村教育委員会の意向を尊重した教職員の配置や加配措置を図ることができた。 					
エ 課 題					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 教職員の効果的な配置に向け、今後も郡市間での人事交流の促進を図ることが必要であるが、そのためには多面的な情報分析を今後も継続して実施していくことが必要である。 ・ 事務のあり方検討について各市町村教育委員会に情報共有を行いながら、新たな取組を行うための支援を行っていく。 ・ 教職員の人材確保のため、ハローワーク等での求人募集を行っていききたい。 					

事業名	決算額	財源内訳			
		国庫支出金	起債	その他	一般財源
学ぶ意欲を高める学校教育の推進事業（学校教育担当）	3,681				3,681
将来ビジョン	—				
令和新時代創生戦略	—				
政策項目	—				
（概要）					
ア 目的及び事業の実施状況					
（ア）目的					
<ul style="list-style-type: none"> ・対象組織（各地教委、学校、教育団体、校長会等）の課題やニーズに応じた支援の充実を図る。 ・教師の授業改善に資する指導及び情報提供を行うことで、西部地区の児童生徒の学力向上及び予測困難な社会の変化に対応するための資質・能力の育成を図る。 					
（イ）事業の実施状況					
【学校訪問】					
① 計画訪問					
市町村(学校組合)教育委員会が行う計画訪問に県教育委員会も同行し学校経営や研究推進等についての助言を行うとともに学校シートによる共通理解を図った。					
② 要請訪問・依頼相談（主に特別支援教育）					
学校（園）からの要請を受け、教育課程の内容に基づいた授業づくりや研究推進におけるマネジメント等についての情報提供や助言を行った。また、専門的な見地からの研修や個別相談への対応を行った。					
③ 学事同行型訪問					
学事担当が行う年間2回の学校訪問に同行し、PDCAサイクルの実現に対する支援を行うとともに、日常の授業改善が円滑に行われるよう支援を行った。					
【学力向上総合対策推進事業】					
① 主体的・対話的で深い学びの実現による学力向上事業					
② 単元到達度評価問題の実施（小学校算数3年～6年 ※1年・2年は「たしかめ問題」を配信）					
【島根大学との共同研究】					
① 中学校外国語に係る共同研究（定期テスト作成研修等）					
② 中学校におけるCHACHACHAプログラムの実施					
イ 令和2年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点					
<ul style="list-style-type: none"> ・西部地区の全ての小中学校において学校訪問を実施し、「めあて—まとめ・振り返り」のある授業の徹底を図るとともに、その定義や必要性について再確認し、質の向上を図った。 ・小学校において新学習指導要領全面実施を踏まえた授業づくりの推進及び評価の充実を図った。中学校においては、来年度の改訂に向け、新学習指導要領の内容についての資料及び解説動画等を作成し、周知を行った。 					
ウ 成果及び効果					
<ul style="list-style-type: none"> ・学校訪問を通して周知徹底したことにより、「めあて—まとめ・振り返り」のある授業づくりが西部地区のほぼ全ての学校で意識され、質の向上が図られるようになった。 ・単元到達度評価問題をもとに単元で付けるべき力を明確にしたことにより、到達率の上昇がみられた。 					
エ 課題					
<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響による授業時数の減少を想定し、カリキュラムマネジメントを取り入れた年間指導計画の見直しが必要。 ・GIGAスクール構想に向けたさらなる学校支援が必要（プログラミング教育等）。 					

事業名	決算額	財源内訳			
		国庫支出金	起債	その他	一般財源
社会全体で学び続ける環境づくり事業（社会教育担当）	818				818
将来ビジョン	—				
令和新时代創生戦略	—				
政策項目	—				
（概要）					
ア 目的及び事業の実施状況					
（ア）目的					
・生涯学習社会を支える家庭や地域の基盤強化を図る。					
（イ）事業の実施状況					
事業名	開催日	会場	参加者	内容	
西部地区社会教育関係者研修会	12月16日	西部総合事務所講堂	社会教育関係者等（90名）	夜間中学校に関する映画を視聴し感想交流後、講師から夜間中学校の現状を学んだ。	
西部地区子育て支援関係者研修会	9月23日	大山青年の家	子育て・家庭教育支援関係者（25名）	新型コロナウイルス感染症感染防止対策の影響による子供たちのストレス解消法について学んだ。	
	2月26日	ヴィレステひえづ	子育て・家庭教育支援関係者	新型コロナウイルス感染症感染防止対策の影響による子どもたちの心理的サポートについて学んだ。	
ふるさとキャリア教育等支援事業	10月17日	日野中学校	中学生・大学生・大人95名	生き方や働くということについて、中学生、大学生、地域の大人で対話を通して、お互いが学びあった。	
西部地区コミュニティ・スクールを語る会	10月24日	西部総合事務所講堂	学校運営協議会委員、市町村担当者	学校と地域が協働して子供たちを育成していく実践例の情報交換を行った。	
イ 令和2年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点					
<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援関係者研修会では、新型コロナウイルス感染症感染防止対策の影響による子供たち・保護者の支援について具体的な内容を学べる機会とした。 ・ふるさとキャリア教育等支援事業では、新型コロナウイルス感染症感染防止対策でオンラインを利用し、中学生と大人の対話ができるような環境づくり、システムの構築を行った。 					
ウ 成果及び効果					
<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症感染防止対策により集合研修等が実施しにくかったが、中止にせず、オンラインを利用したり、参加人数、会場、研修内容を工夫したりすることで開催することができた。 ・「夜間中学校」について知らないことが多かったが、研修を通して鳥取県で開設しようとする夜間中学校について関心を持ってもらえた。 ・中学生が地域への関心が高まり、地域の大人は学校への支援・協力する意識が生まれ、学校を核とした地域づくりの一步となった。 					
エ 課題					
<ul style="list-style-type: none"> ・集合型研修が実施しにくい中、オンライン利用を計画しても、受講する側にネット環境が整っていないこともあり、ネット環境の整備が必要。 ・オンラインによる研修には限界がある。演習については集合型研修が良いが、オンラインによるグループワークの形を構築していく必要がある。 					

6 収入証紙取扱調べ

有 ・ 無

7 現金の取扱状況

(1) 現金取扱状況

該当なし

(2) つり銭の状況

該当なし

8 財産に関する調べ

(1) 公有財産

ア 土地

該当なし

イ 建物

該当なし

ウ 山林

該当なし

エ 動産（船舶、浮標、浮棧橋、浮ドック、航空機）

該当なし

オ 物権

該当なし

カ 無体財産権（特許権、著作権、商標権、実用新案権等）

(ア) 異動状況

該当なし

(イ) 出願及び登録の状況

該当なし

(ウ) 活用の状況

該当なし

キ 有価証券

該当なし

(2) 金券類の保有状況

ア 金券の保有状況

有 ・ 無

イ タクシーチケットの保有状況

該当なし

9 財産の貸付け及び使用許可調べ

(1) 土地及び建物

ア 土地

該当なし

イ 建物

該当なし

(2) 物品

(令和3年3月31日現在)

品名	数量	規格・銘柄	貸付期間	貸付料 (円)		貸付先	使用場所	貸付目的	備考
				単価	本年度の貸付料	住所 氏名			
WISC-IV 知能検査用具	一式		R2. 8. 27~ R2. 8. 31	月額・年額	無料	伯耆町吉長78番地2 伯耆町立岸本小学校	岸本小学校	児童の特性を把握し、 支援に生かすため。	
合計									

10 借受不動産明細調べ

該当なし

11 職員駐車場の管理状況調べ

(1) 管理状況

該当なし

(2) 減免の考え方 (減免を行った場合のみ)

該当なし

(3) 使用料の見直し

該当なし

12 寄附物件の受納状況調べ

該当なし

1.3 備品の処分状況調べ

品名 (規格・銘柄)	(保管換年月日) 取得年月日	不用決定 年月日	処分				備考	
			売却・棄却の別	売却方法・ 棄却理由	処分年月日	売払額		処分費用
ビデオカメラ ハードディスク内臓 ビクターGZ-MG505	平成18年 7月7日	令和2年 12月15日	棄却	破損、修理不能	令和2年 12月18日		0円	
レーザープリンター キャノンLBP8630	平成24年 2月22日	令和2年 11月4日	棄却	故障、修理代が 高額のため	令和2年 12月22日		0円	新品購入時に引き取り

1.4 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

(1) 亡失、損傷の報告状況

有 ・ 無

(2) 物品確認の実施状況

有 ・ 無

15 小中学校等への支援の状況調べ

(令和3年3月31日現在)

(単位：回)

区 分	保育所・幼稚園		小 学 校		中 学 校		高 等 学 校		特別支援学校		合 計	
	来 所	訪 問	来 所	訪 問	来 所	訪 問	来 所	訪 問	来 所	訪 問	来 所	訪 問
4月	0	2	3	5	0	5	0	17	0	0	3	29
5月	1	4	9	35	1	29	2	20	0	2	13	90
6月	0	6	4	58	1	25	1	22	0	0	6	111
7月	2	12	4	33	0	21	1	22	0	2	7	90
8月	0	12	4	6	1	1	0	1	0	0	5	20
9月	0	12	1	24	1	10	2	26	0	1	4	73
10月	0	17	2	82	0	26	1	23	0	0	3	148
11月	1	12	4	46	1	58	0	17	0	0	6	133
12月	1	12	2	18	0	32	1	12	0	0	4	74
1月	0	10	0	19	1	7	1	11	0	0	2	47
2月	0	11	4	16	3	6	0	14	0	2	7	49
3月	0	6	1	6	1	3	0	11	0	1	2	27
計	5	116	38	348	10	223	9	196	0	8	62	891
前年度	6	130	20	388	8	188	3	198	0	11	37	915
前々年度	0	82	31	351	9	162	10	179	0	13	50	787

○ 意見、要望等

(1) 業務に関する意見・要望等
特になし

(2) 監査委員事務局に対する要望等
特になし